

平成 24 年度（第 2 期） 横浜国立大学
中核的理科教員養成プログラム 募集要項・履修案内

1. プログラムの概要と目的

近年、児童生徒の理科嫌いが問題視されていますが、理科を教える教員の能力資質の低下もその一因とされています。そこで、国の施策として、理科の指導を得意とする教員の養成や理科の実験・観察に係る知識や技能の向上が強く求められています。本学では教育人間科学部が中心となって理科教員の養成を行ってきましたが、社会的な要請の高まりに応じて、2010 年 10 月に、教育人間科学部に附属組織である「横浜国立大学教育人間科学部附属高度理科教員養成センター」（以下センター）を設置し、2011 年 4 月より教育学研究科、工学府、環境情報学府、および教育人間科学部、理工学部の協力のもとに総合的な大学院レベルの教育プログラムである「中核的理科教員養成プログラム」（以下本プログラム）を開始しました。

本プログラムは、横浜国立大学と神奈川県内の 4 つの教育委員会（神奈川県・横浜市・川崎市・相模原市）および外部の理科教育に関する専門機関が連携を図り、「教育現場や地域で理科教育の指導的な役割を担うことのできる能力」の習得を目的にした大学院副専攻教育のためのものです。本プログラムを通じて、理科の専門知識と技能、授業実践力と教材開発力を習得し、学校および地域の理科教育の発展に寄与することのできる人材、中核的理科教員（コア・サイエンス・ティーチャー、C S T）の育成を目指します。

2. 応募要件

本プログラム履修者は、以下のすべての要件を満たす必要があります。

（1）本プログラム履修者

- ① 本学大学院の研究科・学府に在籍する大学院生で、理科教員として小学校、中学校などで活躍することを目指している者。現職の理科教員で大学院生として本学大学院で学ぶ者のうち、本プログラムが目的とする C S T として必要な知識・手法の習得を目指している者。
- ② 本学大学院の研究科・学府に在籍する大学院生で、指導教員の承認・推薦を得ている者。また、大学院生で現職の教員（小学校教諭または中学校・高等学校理科教諭）であるものは、指導教員の下承・推薦に加えて、勤務する学校長の承認が得られる者（センターにお問い合わせください）。

[注 1]本プログラム履修者には、在籍する研究科・学府での修了要件となる授業科目の履修に加えて、プログラムコア科目の履修と単位の取得が求められます。在籍する研究科・学府の指導教員と十分に相談した上で応募してください。

[注 2]本プログラムへの応募および受講にあたって応募手数料や受講料は必要ありません。

3. 募集人員

本プログラムの募集人員は、以下のとおりです。

| | |
|-------------|-------|
| 修士課程・博士課程前期 | 10名程度 |
| 博士課程・博士課程後期 | 若干名 |

4. 履修登録

履修を希望する大学院生は、在籍する研究科・学府の指導教員と十分に相談した上で、下記の書類を提出してください。

(1) 本プログラム履修希望者が提出する書類

- ① 履修登録申請書および指導教員承認書【様式1】
- ② 履修計画表【様式2】
- ③ 履修許可証【様式3】
- ④ 在籍する研究科・学府での履修登録表の写し（履修登録確認期間中に配布されるものの写し。応募期間に間に合わない場合には、その旨をお知らせいただき、後日、提出してください）

プログラムコア科目の履修登録申請は、履修登録申請書（様式1）と履修計画表（様式2）をセンターに提出することで行うものとします。

【注】プログラム履修が許可にならなかった場合、応募者に対してその旨を通知します。

5. 応募期間

履修登録書類の受付は、下記に指定したいずれかの方法で応募期間内に行います。

- ① 応募者本人による窓口での提出
- ② 指導教員経由の学内便による提出

応募期間：4月12日(木)～4月26日(木) 10時～17時

提出窓口：教育人間科学部 附属高度理科教員養成センター事務局

(情報基盤センター別館 大学教育総合センター内 202号室)

※建物の位置は、要項末尾のキャンパスマップを参照してください。

電話： 045-339-3377

メールアドレス：cst-office@ml.ynu.ac.jp

ホームページ： <http://www.cst.ynu.ac.jp/>

学内便の宛先：教育人間科学部 附属高度理科教員養成センター

6. 選考

選考は、応募者が提出した書類の審査と必要に応じて面接を行います。書類審査は、応募者の在籍する研究科・学府での履修計画と本プログラムの履修計画表をもとに行います。面接審査では、本プログラムに求められている中核的理科教員（CST）養成の観点から選考します。プログラムの履修を許可された者には、プログラム履修許可証【様式3】を発行します。

なお、履修者向けの連絡は電子メールまたは本センターHPへの記事掲載で行います。成績、修了に関する重要なメールを送信することがあるので、大学院生は必ず各自の vnu メールにアクセスできるように願います。

7. プログラム授業科目

プログラム履修者は、プログラムコア科目（必修）を履修しなければなりません。このプログラムコア科目は年間を通じて決められた時期に開講されます。

(1) プログラムコア科目 9科目20単位

| | |
|------------------|--------------------|
| 「危機管理特別実験演習」 | (1年次通年・不定期集中・1単位) |
| 「小学校・中学校理科実験演習Ⅰ」 | (1年次通年・不定期集中・2単位) |
| 「小学校・中学校理科実験演習Ⅱ」 | (1年次通年・不定期集中・2単位) |
| 「理科教材開発実践演習」 | (2年次春学期・不定期集中・1単位) |
| 「理科授業研究」 | (1年次秋学期・2単位) |
| 「人間社会と科学」 | (2年次通年・不定期集中・2単位) |
| 「地域フィールド研究」 | (2年次通年・不定期集中・2単位) |
| 「理科教員特別実習Ⅰ」 | (1年次秋学期・4単位) |
| 「理科教員特別実習Ⅱ」 | (2年次春学期・4単位) |

※ プログラムコア科目は、教育人間科学部附属高度理科教員養成センターが開講します。

(2) 選択科目

教員免許状の取得を希望するものは、センター教員の面談を受け、必要な科目の履修計画を立てた上で、選択科目として履修をする手続きを行います。履修計画書に現在保有している教員免許と取得を希望する教員免許を記入してください。ただし、教員免許状の取得については、学部などでの既取得単位、現在、保有している免許状、希望する免許状の種類により必要な科目等が異なるため、2年間で取得できない場合もあります。

[注] 当初の履修計画表に変更がある場合には、新たに履修計画書を提出してください。

8. 修了要件

本プログラム修了およびC S Tの認定には、以下のすべての要件を満たす必要があります。

- (1) プログラムコア科目（9科目20単位）の修得（「7. プログラム授業科目」を参照してください）。
- (2) 小学校、中学校（理科）、高等学校（理科）の一種（あるいは、専修）免許状のうち、2つ以上の免許状の取得（見込み）。

本プログラムを修了すると、「プログラム修了証（C S T認定証）」が授与されます。

9. プログラム修了申請

プログラム履修者は、本プログラムの修了要件を満たす見込みとなった時点で、高度理科教員養成センター事務局に修了申請を行ってください（様式4）。

10. プログラム修了証

本プログラムの修了者に対し、『中核的理科教員養成プログラム修了証』を授与します。

修了証は、いわゆる資格・免許ではありませんが、本プログラムの修了者であることと、本学と神奈川県教育委員会、横浜市教育委員会、川崎市教育委員会、相模原市教育委員会の連携事業であるC S T養成プログラム（神奈川C S Tプラン）により、本学からC S Tとして認定されたことを証明するものです。

11. プログラムの教務関係事務手続きおよびその他の問い合わせ先

横浜国立大学教育人間科学部 附属高度理科教員養成センター事務局

情報基盤センター別館 大学教育総合センター内 202号室

電話： 045-339-3377

メールアドレス： cst-office@ml.ynu.ac.jp

ホームページ： <http://www.cst.ynu.ac.jp/>

平成24年度中核的理科教員養成プログラム

平成 年 月 日

履修登録申請書（大学院生用）

中核的理科教員養成プログラムへの履修登録を申請します。

所属研究科・学府： _____ 研究科・学府

専攻： _____ 専攻

学籍番号： _____

現職教員の場合： () を入れてください。

入学年月： 平成 () 年 () 月

修了見込み： 平成 () 年 () 月修了見込み

氏名（フリガナ）： _____

メールアドレス： _____

※ブロック体で明瞭に記入すること。

※添付ファイルを含む場合があるので携帯メールは不可。

緊急時の連絡先電話番号： _____ ()

所属での研究等のテーマ： _____

教員免許状の追加取得： () 追加取得希望の場合にはを入れてください。

平成 年 月 日

指導教員承認書

上記大学院生の中核的理科教員養成プログラムへの履修登録を承認します。

指導教員： _____ (印)

プログラム学務委員会使用欄

| プログラム受付日 | プログラム履修登録番号 | プログラム学務委員会 |
|-----------|-------------|------------|
| 平成24年 月 日 | | (印) |

平成 24 年度中核的理科教員養成プログラム

履修計画表

| プログラムコア科目 | | |
|------------------|-------------|--------|
| 科目名 | 履修時期 | |
| 危機管理特別実験演習 | 平成 24、25 年度 | 春・秋・通年 |
| 小学校・中学校理科実験演習 I | 平成 24、25 年度 | 春・秋・通年 |
| 小学校・中学校理科実験演習 II | 平成 24、25 年度 | 春・秋・通年 |
| 理科教材開発実践演習 | 平成 24、25 年度 | 春・秋・通年 |
| 理科授業研究 | 平成 24、25 年度 | 春・秋・通年 |
| 人間社会と科学 | 平成 24、25 年度 | 春・秋・通年 |
| 地域フィールド研究 | 平成 24、25 年度 | 春・秋・通年 |
| 理科教員特別実習 I | 平成 24、25 年度 | 春・秋・通年 |
| 理科教員特別実習 II | 平成 24、25 年度 | 春・秋・通年 |

教員免許状の取得希望に関わる調査（追加取得を希望しない場合には記入不要）

現在所持している教員免許状（すべて記入してください）： _____

追加取得を希望する教員免許状： _____

提出年月日： 平成 年 月 日
 所属： _____ 研究科・学府
 専攻： _____ 専攻
 学籍番号： _____
 氏名： _____

平成24年度中核的理科教員養成プログラム
履修許可証

中核的理科教員養成プログラムの履修を許可します。

所属研究科・学府* : _____ 研究科・学府
専攻* : _____ 専攻
学籍番号* : _____
氏名(フリガナ)* : _____
所属での研究等のテーマ* : _____

プログラム履修登録番号 : _____
(プログラム学務委員会が記入します)

平成 年 月 日
横浜国立大学教育人間科学部
附属高度理科教員養成センター長

⑩

注1 : *印のついた項目のみ記入してください。

注2 : 写しを指導教員に渡し、原本は各自で保管してください。

平成24年度中核的理科教員養成プログラム 修了申請書

私は、下記のとおり、中核的理科教員養成プログラムの修了要件を満たす見込みですので、プログラムの修了を申請致します。

申請年月日 : 平成 年 月 日

プログラム履修登録番号 : _____

所属研究科・学府 : _____ 研究科・学府

専攻 : _____ 専攻

学籍番号 : _____

氏名 (ふりがな) : _____ ※楷書で記入 (外字注意)

(ローマ字) : _____ ※ブロック体で記入

所属での研究等のテーマ : _____

| プログラムコア科目 | | | |
|----------------|------|----|--------|
| 科目名 | 履修時期 | | |
| 危機管理特別実験演習 | 平成 | 年度 | 春・秋・通年 |
| 小学校・中学校理科実験演習Ⅰ | 平成 | 年度 | 春・秋・通年 |
| 小学校・中学校理科実験演習Ⅱ | 平成 | 年度 | 春・秋・通年 |
| 理科教材開発実践演習 | 平成 | 年度 | 春・秋・通年 |
| 理科授業研究 | 平成 | 年度 | 春・秋・通年 |
| 人間社会と科学 | 平成 | 年度 | 春・秋・通年 |
| 地域フィールド研究 | 平成 | 年度 | 春・秋・通年 |
| 理科教員特別実習Ⅰ | 平成 | 年度 | 春・秋・通年 |
| 理科教員特別実習Ⅱ | 平成 | 年度 | 春・秋・通年 |

FACILITIES NUMBER LIST

施設番号一覧表



教育人間科学部
附属高度理科教員養成センター事務局
情報基盤センター別館、
大学教育総合センター内 202号室



教育人間科学部

- S3-3 教育人間科学部事務棟
- S3-2 教育人間科学部第1研究棟
- S3-4 教育人間科学部第2研究棟
- S4-2 教育人間科学部4号館(美術棟)
- S4-1 教育人間科学部5号館(音楽棟)
- S3-1 教育人間科学部講義棟6号館
- S3-2 教育人間科学部講義棟7号館
- S2-1 教育人間科学部講義棟8号館
- S2-3 教育人間科学部教育デザインセンター
- S4-3 教育人間科学部第3研究棟
- S3-5 教育人間科学部別棟

経済学部

- N4-1 経済学部1号館
- N4-2 経済学部講義棟1号館
- N4-3 経済学部講義棟2号館
- N4-4 経済学部新研究棟

経営学部

- N3-4 経営学部1号館
- N3-5 経営学部講義棟1号館
- N3-1 経営学研究棟
- N3-3 経営学部講義棟2号館

国際社会科学部

- N4-5 国際経済法学研究棟
- N3-2 国際社会科学部研究棟

環境情報学部・研究院

- S7-5 環境情報1号棟
- S6-2 環境情報2号棟
- S6-3 環境情報3号棟
- S6-1 環境情報4号棟
- S9-1 総合研究棟S棟
- S9-1 総合研究棟E棟

理工学部 / 工学部・研究院 / 都市イノベーション学部・研究院

- N8-4 工学部事務棟
- N6-5 生産工学科棟
- N6-4 生産工学科2号棟
- N7-6 機械工場A棟
- N7-7 機械工場B棟
- N6-6 金属塑性加工実験室
- S7-6 物質工学科化学棟
- S8-3 建設学土木工学棟
- S8-2 建設学土木構造実験棟
- S8-4 建設学大規模実験棟
- S5-3 建設学建築学棟
- N5-3 建設学建築構造実験棟
- N5-1 建設学建築構造実験棟

理工学部 / 工学部・研究院 / 都市イノベーション学部・研究院

- N5-2 建設学建築材料・環境実験棟
- N10-1 建設学船舶海洋工学棟
- N10-3 建設学船舶海洋実験棟
- N6-2 建設学大型水機実験棟
- N6-2 電子情報工学科棟
- N7-3 特別高圧実験棟
- N6-3 機械発電室
- N6-5 物質工学科工・安工棟
- N6-6 危険物屋内貯蔵庫
- N6-1 低温工学科棟
- S5-6 工学基礎研究棟
- S5-1 理学実験棟
- S5-3 理学研究棟
- S5-5 工学部講義棟A
- S5-7 工学部講義棟A(107)
- S5-8 工学部講義棟B
- N7-4 工学部太陽水素エネルギー実験棟
- N7-9 可視化風洞実験棟
- N8-3 物質工学科エネルギー工学棟
- S5-9 工学部講義棟C
- S7-1 大学院工学研究棟
- S7-2 生物・電子情報棟
- S9-1 総合研究棟W棟(知能理工工学科棟)

事務局

- N2-2 事務局庁舎
- N2-1 学務部庁舎
- N2-4 事務局車庫
- S1-1 守衛所
- N1-1 納品検収センター
- S1-4 キャリア・サポートルーム

附属図書館

- S3-6 中央図書館
- S7-3 理工学系研究図書館

総合研究棟

- S9-1 総合研究棟W棟・S棟・E棟

厚生施設

- S6-4 職員宿泊所
- S1-5 学生会館
- S1-4 第1食堂
- N10-5 第2食堂・大学生協
- N10-4 Sガーデン(カフェテラス ポンパストロノン)

課外活動施設

- S1-7 体育館・武道館
- S0-2 運動場管理棟
- S1-6 文化サークル共用施設
- S1-8 弓道場射場
- N7-8 モータースポーツ部部室
- N10-5 体育サークル会館

管理施設

- N9-1 排水浄化センター
- N7-1 エネルギーセンター

全学教育研究施設等

- S2-2 統合的海洋教育・研究センター
- N4-1 地域実践教育研究センター
- N4-1 成長戦略研究センター
- S5-6 学際プロジェクト研究センター
- S5-3 安心・安全の科学研究教育センター
- S5-4 情報基盤センター
- S2-2 情報基盤センター別館、大学教育総合センター
- N5-2 機器分析評価センター
- N2-3 保健管理センター
- S8-1 Riセンター
- N9-2 研究推進連携産学連携推進本部、共同研究推進センター
- S1-3 留学生センター
- S7-4 ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー
- S1-2 教育文化ホール
- S9-1 インキュベーション施設
- S9-1 未来情報通信医療社会基盤センター
- N7-5 全学共用棟A
- N7-2 全学共用棟B

- 学食・カフェ・お弁当販売場所
- 学務係・教務係
- パソコン教育室・サテライト教室
- 証明書自動発行機
- 駐輪場
- 駐車場
- バス停